八戸が培ってきた伝統で彩る魅力と賑わい

8 はちのへ **八戸**

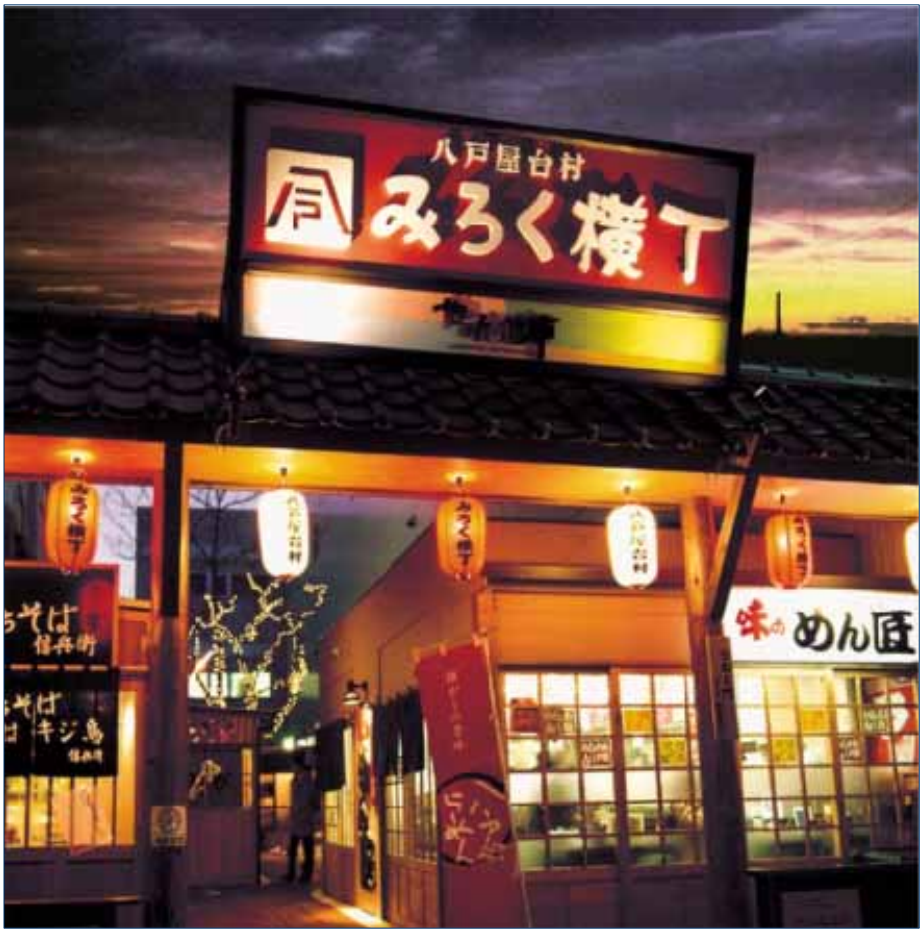
（青森県八戸市）

注目 ポイント ！

○ 地域に根ざした文化を最大限に活かし、観光地へ。

○ 住民の発意を行政が支援し、協働で観光振興を推進。

八戸市観光入込客数が約312万人から約458万人に！
（平成13年） （平成16年）



八戸屋台村「みろく横丁」

◇◇ コラム ◇◇

地域循環型社会を目指し、平成8年日本初のリサイクル資料館「包」パオを開館、翌年に八戸エコ・リサイクル協議会を設立する。

また、平成14年9月に八戸屋台村「みろく横丁」を運営する有限会社北のグルメ都市の代表取締役に就任し、環境対応型屋台村を開設し地域活性化に貢献している。

このような活動を経て「みろく横丁」が観光振興並びに環境対応型まちづくりにおける先進的な地域と認識されるようになった。

地域循環型社会を目指す
中居　雅博氏

これまでの経緯

平成13年（2001）	屋台村構想始まる。
平成14年（2002）	日本初環境対応型屋台村「みろく横丁」がオープンする。
平成15年（2003）	みろく横丁がリデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞する。
平成16年（2004）	みろく横丁屋台村役場が設置される。 はちのへ海フェスタ実行委員会が設立される。
平成17年（2005）	八戸三社大祭「まつりさかだり隊」が発足する。
平成18年（2006）	新規起業者育成のため屋台村がリニューアルされる（25店舗）。 八戸横丁連合協議会が設立される。

※当該地域は「わたしの旅100選」（平成17年）として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

屋台村役場

昭和30年代風の店作りで郷土料理を提供

いろんな人が自然に集まり、何か楽しいこと、面白いことを始めたい。そんな情熱がカタチになったのが八戸屋台村「みろく横丁」。自然の恵みにあまり手をかけず、懐かしくもてなしの気持ちがいっぱいの料理を提供し、賑わいを創出。横丁中央には観光案内所「屋台村役場」が設置され、飲食店情報を掲示するだけでなく、市内周辺観光地等の情報も提供。

また、全てをリサイクルしゴミを出さない工夫をしている他、横丁全域をバリアフリー化するなど環境・福祉面でも社会的ニーズに対応。

平成16年には、みろく横丁の提案で「全国屋台村連絡協議会」を設立。他県より「みろく横丁」を視察したいという申し込みも多数あり、地域づくりに大きく貢献する手段として全国より注目。

ご当地グルメ「せんべい汁」

八戸三社大祭「まつりさかだり隊」

「まつりさかだり隊」は大祭の活性化を目的に八戸青年会議所が呼びかけ発足。

祭りに関する様々なアトラクションを盛り込んだ「テーマパーク」の企画や、山車組の情熱と努力を市民みんなで讃え共に燃焼する空間の創出、また祭りへ新たな魅力を加える提案型企画など、独自の取り組みにより、市民参加型の団体として祭りを盛り上げている。

八戸三社大祭

はちのへ海フェスタ

市民団体が中心となり、八戸の「海」の活用とPR、体験型観光の開発、海の文化の再確認、海に親しむまちづくり、海を活かした観光交流の推進を目的とし、地域に根ざした郷土色豊かな幾つかの既存イベントを、一つの大きなフェスティバルとして一体的に展開。

観光客が複数のイベントをまとめて体験できるよう各イベントの開催日程を調整し、イベント会場間の移動交通手段として、陸は循環バスで、海は船で行き来できるよう調整。観光客増に貢献。

フェスティバル

問い合わせ先

○八戸市産業振興部観光課
Tel：0178－46－4040　http://www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko/
○八戸屋台村「みろく横丁」㈲北のグルメ都市
Tel：0178－28－0815　http://www.36yokocho.com/